



かじき

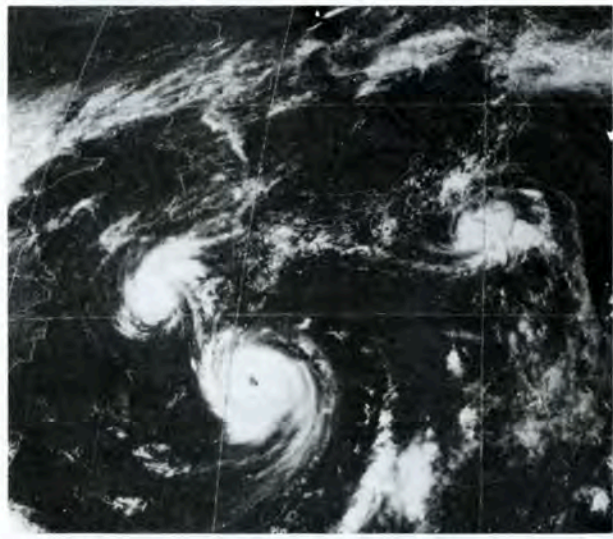
号外 特集 災害に備える
昭和61年

発行 加治木町
編集 総務課

蔵王嶽 広報

題字 東町長

台風



【気象衛星ひまわりがとらえた台風12号、13号、14号】
（左から）の衛星画像—60年8月30日—

台風の“通路”に当たる日本列島——
なかでも八月・九月は台風の“ラッシュ”で、毎年各地に災害をもたらしています。
台風とは、北太平洋西部および南シナ海に発生し、中心付近の風速が毎秒十七メートルを超えた熱帯低気圧のことで、正月になって以後、その年初めて発生した台風を「昭和△△年第一号」と名付け、あとは発生の順に番号をつけます。
台風は中心のまわりに直径が数百キロにおよぶ暴風域、強風域、強い雨の区域を持つて、日ごろからの備えがあれば憂いなし——災害に負けない防衛能力を身につけましょう。

台風の進路予報の表し方

気象庁の台風の進路予報のあらわし方が、6月から新しい方式に変わります。



強風域にも注意してください

1. 暴風域の外側には、必ず強風域があります。強風域では平均風速でおおむね毎秒15メートル以上の強い風が吹いています。
2. 暴風域や暴風警戒域のない台風でも、強風域を伴っています。
3. 暴風域や暴風警戒域のない場合は、予報円のみ表示となります。



強風域だけの台風の場合（平均風速が毎秒25メートル未満の台風の場合）

4. 強風域は図に表示ませんが、台風情報等には必ず入れることにしています。

台風情報は常に新しいものを使ってください

台風が日本に近づいた時には、台風的位置は1時間毎、進路予報は3時間毎に発表しています。常にテレビ、ラジオなどで新しい情報を入手してください。

台風の動きが遅い場合は、12時間先の予報を省略することがあります。

台風シーズンを備えて

正しい情報をより早く

怖いものの代名詞といえば「地震、雷、火事、おやじ」と昔から相場は決まっています。では、なぜ台風はこの中に入っていないのでしょうか。

台風が、地震や雷といちばん違うところは、他の災害が突発的に発生するのに対し、台風は規模や進路などがある程度予測できることではないでしょうか。

言い換えれば、正しい情報を、より早く知り、備えができれば台風の被害は最少限に食い止められる、といえるのです。

防災豆知識

風の強さと被害の程度

10m/秒	かきこわれる
15m/秒	取りつけの悪い看板やトタン板がこわれる。
20m/秒	子どもは歩けない。おともからだを傾けてやと歩ける。
25m/秒	煙突や屋根瓦が飛び、テレビアンテナが倒れる。
30m/秒	雨戸がはずれ、しっかりしていない家は倒れる。
40m/秒	小石が飛び散り、列車も倒れるほどの強さ。
50m/秒	たいていの木造家は倒れ、木は根こそぎ倒れる。

日ごろの備えを万全に

〈いざというときに備えて〉

自分たちが住んでいる地域ではどんな災害が起こりやすいかを調べ、災害が発生した場合に備えて安全な避難場所と避難経路を確認しておきましょう。

家の外の備え

- 窓や雨戸は、しっかりカギをかけ、必要なら棧を打ちつけておきましょう
- 下水や溝が詰まっているとあふれて浸水の恐れもあります。日ごろから掃除しておきましょう
- 支持力の弱い庭木、煙突、ブロック塀などはしっかりと補強しておきましょう。また、アンテナも針金などで固定しておきましょう
- かわらや看板、バイク車庫などもしっかり固定しておきましょう

家の中の備え

- ガラス窓が割れると大変危険です。テープをはっておくか、カーテンを引いておきましょう

- 停電したら真っ暗やみ——これでは、お手上げの状態です。懐中電灯、ロウソク、トランジスタ・ラジオなどを用意しておきましょう
- また、中層住宅では停電のため水道が使えない場合があります。飲料水やトイレの水を確保しておきましょう
- 避難するときの携行品を非常袋に入れ、すぐ持ち出せる場所に置いておきましょう



台風が近づいたら

台風情報に注意

- 台風が近づくと、台風情報や注意報、警報などが次々に発表されます。ラジオ、テレビなどで最も新しい情報をよく聞いて対策をたてましょう
- 流言に惑わされたり、勝手な判断や行動をせず、正しい情報を聞いて消防や警察、誘導責任者などの指示に従いましょう

家族の安全は「家族防災会議」から

もし、わたしたちの住んでいる町に大災害が起きたら……台風に限らず、いざというときにあわてないためにも、ふだんから防災について考えておくことが大切です。

9月15日は「防災の日」。これを機会に、家族みんなで「家族防災会議」を開き、防災について話し合いをもちましょう。

家族防災会議で話し合うこと

- 家族の役割分担
- 離ればなれになったときの家族の連絡先と連絡方法
- 火の始末と初期消火
- 家具・危険物などの点検整備
- 避難場所と避難路の確認
- 水、食料などの備蓄と非常持出品の準備
- 災害についての正しい知識

避難するときには

避難の準備

- 危険を感じたり、防災機関などから避難命令のあったときは、その指示に従い、すばやく避難しましょう
- まず、お年寄り、子供、病人を早目に避難させましょう

避難上の注意

- 火の元を注意して、しっかりと火の始末をしておきましょう
- 服装は行動ししやすいものが何よりです。身じたくを整えて、持ち物は最少限にしましょう
- 特に頭にはヘルメット、または厚手の帽子をかぶり、靴は底の丈夫なズック靴が最適、手袋も用意しましょう
- 不慣れた道では障害物でケガを

台風のあと始末は：

- 家のまわりを点検しましょう。落ちたり、倒れたりしそうなものはありませんか。また、電線が切れてたるんだりしていませんか
- 浸水で汚れた床や腰板などは、できるだけ早く水洗いし、クレゾールなどで消毒しましょう
- 家は風通しをよくして乾燥させ床上浸水なら水でよく洗い、家中消毒をしましょう



ガスコンロ

- 電話や応対に出るときは必ず火を消す
- まわりに燃えやすいものはないか



たばこ

- 寝たばこ
- くわえたばこ
- 吸いがらの後始末



放火

- 家の回りに燃えやすいものをおかない、ゴミも指定日に出す
- 袋小路や暗がり、家の回りを明るくする



電気器具の消し忘れ、切り忘れ

- 使い終わったら、スイッチとコンセントを切る
- ひとつのコンセントからいくつもの電気器具を同時に使わない
- 使っていないのに積算電力計が回り、ブレーカーが切れることはないか



火遊び

- マッチ、ライターは子供にもたせない
- 幼児だけを残して外出しない
- 火の恐ろしさを、正しい取扱いを教える



石油ストーブ

- ふすま、カーテンのそばにおかない
- 火をつけたまま給油や持ち運びをしない
- 外出時や睡眠時は完全消火を確かめる



スプレーの空き缶

- 爆発しないように穴をあけて捨てる



お年寄りや階下に床を!



風呂のからだき

- 点火する時は浴槽に水のあることを確かめる
- 使用後の元栓は必ず閉める
- 内だき風呂は、時々空気を入れかえる

たき火

- 風の強い時、空気の乾いている時はしない
- 回りに燃えやすいものがない所でする
- 水を用意し、完全消火する



花火

- 大人と一緒に遊ぶ
- 水バケツを用意し、終わったら完全消火
- 吹出し、打上げ花火は途中で火が消えてものぞかない



火の元 チェック はこんな所

とくに、台所を制すれば火災は半減します。やはり奥さまの責任は重大です。毎月十五日は「防火の日」。家庭でも、毎月十五日を「我が

わが家の防火対策

＜毎月15日は「防火の日」＞

火災は、そのほとんどが「人災」。消したつもり「消えたはず」がとんだ大火事につながります。

そして、火事ほどみごとに、すべてを灰にしてしまうものもありません。そのうえ、近所にも大迷惑。

家の安全チェックの日」と定め、家庭内の安全対策に努めてください。(午前七時に、町内消防団各分団のサイレンを吹鳴します)

火災発生

まず何から

のようなことを正確に通報しましょう



大声で叫ぶ

▼火災を見つけたら、消火にかかりながらも大声で家族や近所に知らせ、消防署へ通報する

火事の知らせ方

- ▼「火事だ」と大声で叫ぶ
- ▼なべ、やかんなどをガンガンたたく
- ◎二一九番への通報
- 一一九番へ電話するときは、次

消火、避難の判断をする

▼消防車が来るまで、消火活動に

- ▼まず火災であることを伝える
- ▼場所(住所)はどこか
- ▼建物の種類は。木造かビルか
- ▼脱出できないでいる人の有無やけが人は……
- ▼火災現場付近で目印になるものは……
- ▼判断に迷ったら、ただちに避難しましょう
- ◎消火できない時
- ▼初期消火に失敗したらすぐ避難しましょう
- ▼天井に燃え広がりはじめたら必ず避難しましょう
- ▼お年寄り、病人、子供の避難を優先しましょう

消防隊との連携プレー

▼消防隊が到着したら、連携プレーで消火活動の手助けをし、被害を最少限にとどめましょう

積極的な情報提供

- ▼逃げ遅れた人やケガ人の有無
- ▼何が燃えているか
- ▼爆発物、危険物の有無とその位置
- ▼出火場所への最短通路を伝える
- ▼進入口へ誘導する

防災豆知識

初期消火のコツ

●油なべに火が入ったら

- ①まずガス栓をとめ、炎にまどわされずに、ふたをして酸素を断つ。
- ②水気のないキャベツやホウレン草など、手近な野菜を扇子のように広げてもち、ふたをするようにかぶせてもよい。
- ③消火器を使うときは、油を飛散させないように、壁板に消火液をぶつけて、反射させながらかける。



非常持出品はこれで十分

あまり欲ばると安全な避難に支障をきたすので、荷物は最小限に。男性の場合で最大15kg、女性で10kg程度がひとつの目安です。

これが基本です

- 貴重品類 (印鑑、預金通帳、株券、現金など)



- トランジスタラジオ (予備電池も忘れずに)



- 衣類 (セーター、ジャンパー類 (夏でも必要)、下着1組、毛布など)



- 応急医薬品 (目薬、傷薬、胃腸薬、脱脂綿、絆創膏、包帯、生理用品、クレオソート丸、抗生物質など)

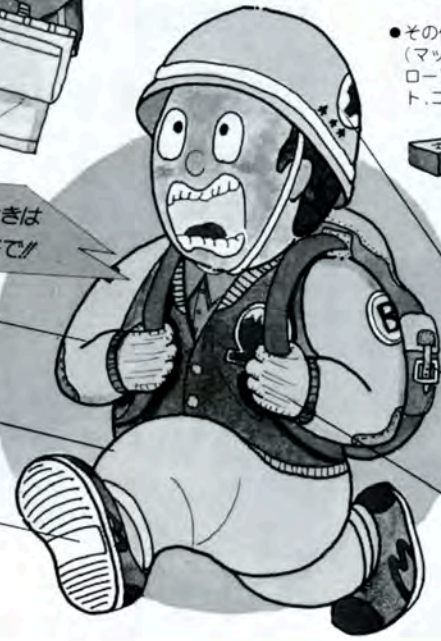
- 食料品・飲料水 (乾パン、缶づめ、ビスケット、チョコレート、チーズ、携帯用飲料水など)



- その他 (マッチやライターなどの発火用具、ローソク、十徳ナイフ、ビニールシート、コップ、缶切り、大小のポリ袋など)



避難するときはこんな格好で!!



長そでの上着

綿のスポン

底の平らな丈夫なくつ

ヘルメット (防災ずきん)

リュックサック (非常持出袋)

厚手の手袋

追加1 赤ちゃんがいる場合



●ほ乳ビン

●ミルク



●紙おむつ

追加2 お年寄りがいる場合



●常備薬



●おむつ



●看護用品

●タンカ

追加3 あれば便利なもの

●浮き袋 (堤防などが決壊した場合に備えて)



●さらし

●ロープ (直径12mm以上で、長さが10m以上のもの)

避難場所

(広場)

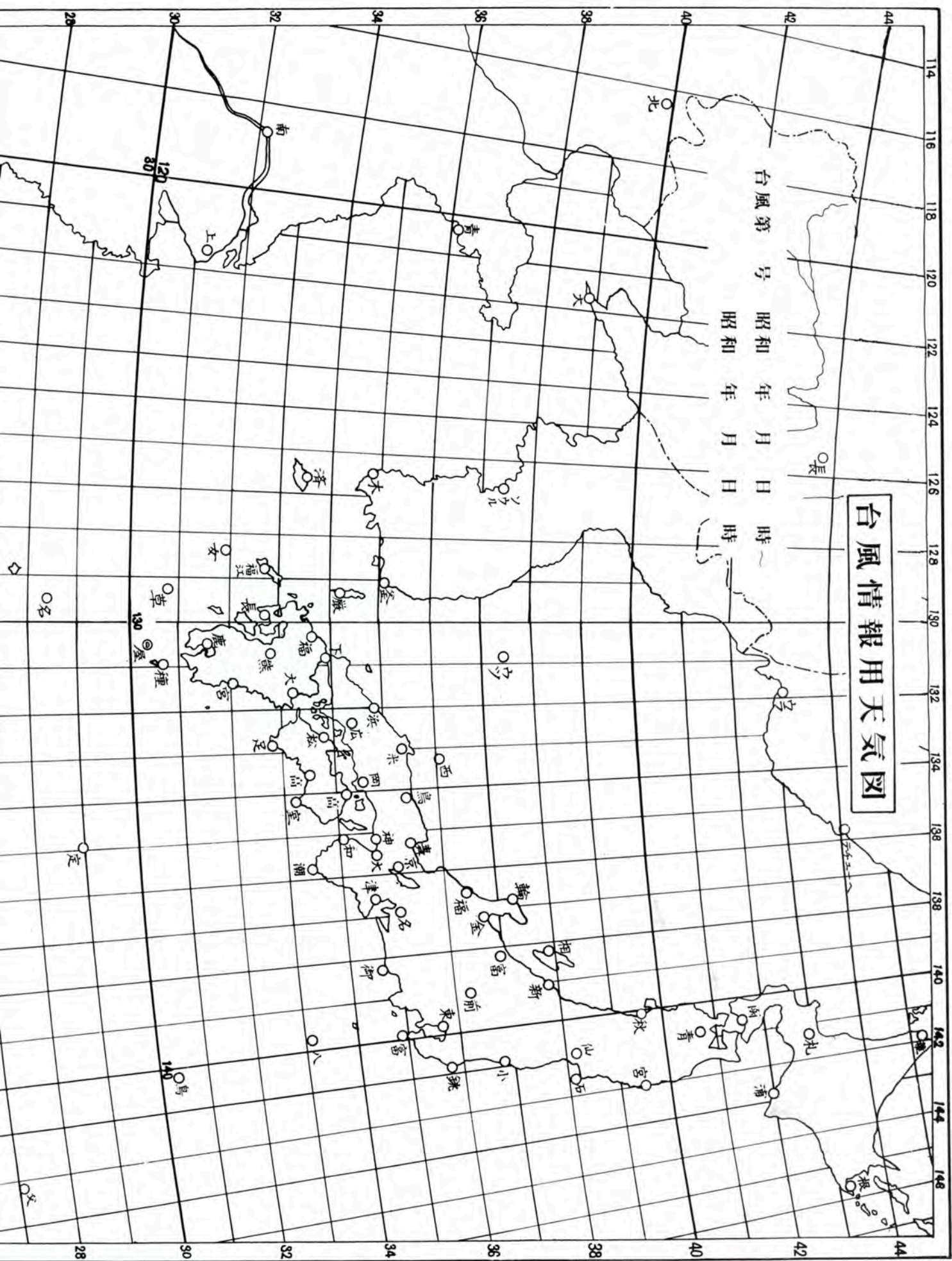
(施設)

場 所	所在地
役場グラウンド	本町253
柁城小学校グラウンド	仮屋町248
加治木中学校グラウンド	反土2162
天神公園	諏訪町11
加治木高校グラウンド	仮屋町211
加治木工業高校グラウンド	新富町131
町営運動場	木田5348番185
竜門小学校グラウンド	小山田1364
錦江小学校グラウンド	錦江町111
永原小学校グラウンド	西別府645
旧中野小学校跡地	日木山1169—6
旧鎮守小学校跡地	辺川801
加治木小学校グラウンド	反土2955

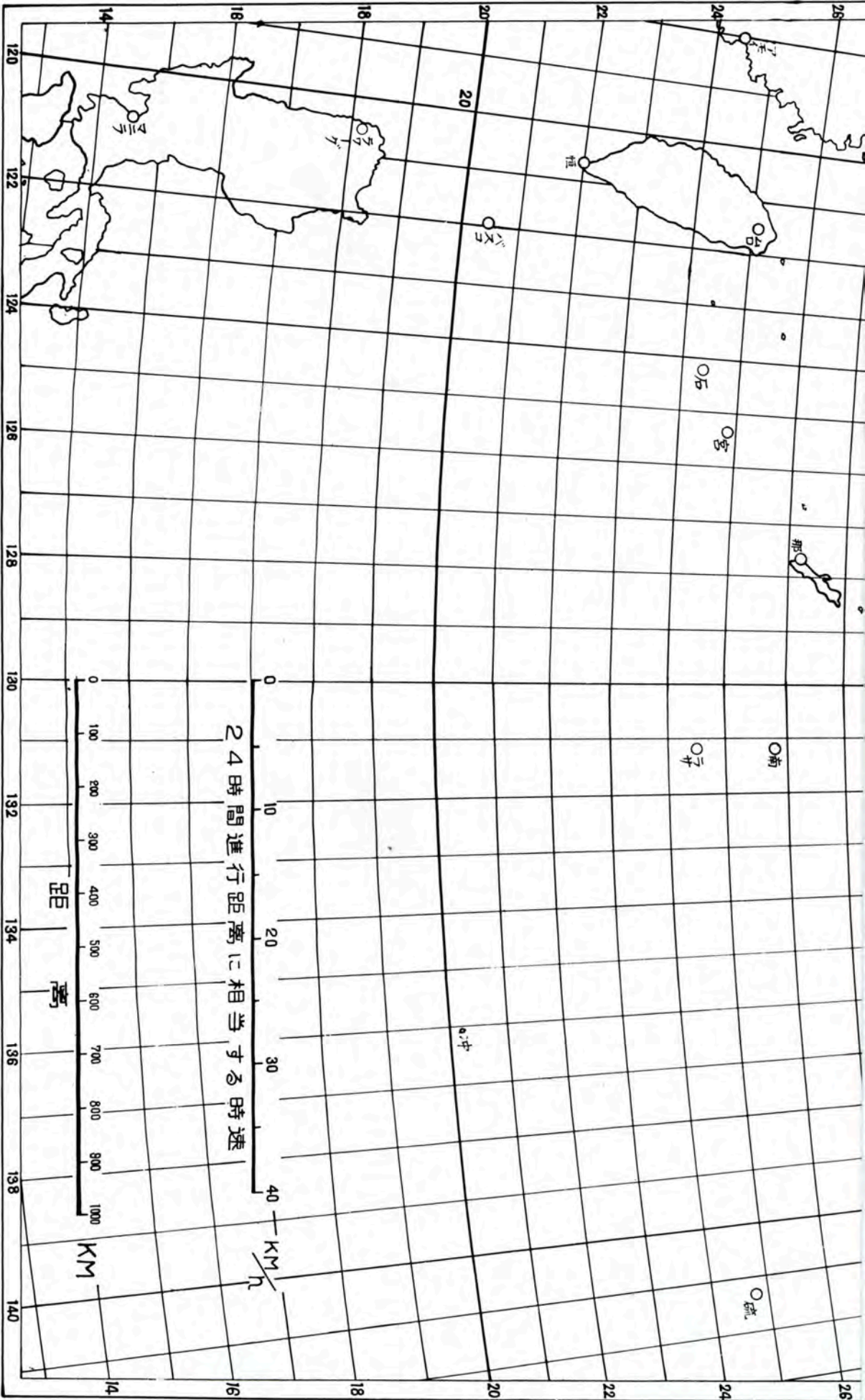
場 所	所在地	電話番号	備考
福祉センター	本町403	63—2080	ホール会議室・その他
柁城小学校体育館	仮屋町248	63—2552	
加治木中学校体育館	反土2162	63—1111	
町営体育館	本町253	62—2111	
性応寺	朝日町187	62—2054	
加治木工業高校体育館	新富町131	62—3166	
錦江小学校体育館	錦江町111	62—2359	
弥勒公民館	木田2407—2	—	
木田第2地区公民館	木田3409—4	—	
岩原公民館	木田725	—	
竜門小学校体育館	小山田1364	63—3446	
迫公民館	小山田6114	—	
永原小学校体育館	西別府645	62—2816	
辺川大字公民館	辺川801	—	
加治木小学校体育館	反土2955	62—3156	
中野地区公民館	日木山1169—3	—	

台風情報用天気図

台風第 号
昭和 年 月 日 時 時



《見やすいところには「役」に立ってあります》



資料提供 財団法人日本気象協会鹿児島支部
 鹿児島市荒田一丁目二四の十三号
 電話 (0992) 5415578

台風第 号		大きさ		型で		台風	
年	月	キロ	度	北緯	度	分	東経
日	時現在	mb	分	度	分	度	分
		進行方向	km/h				
		最大風速	m/s				
		25%以上の暴風雨半径	km以内				
		15%以上の強風半径	km以内				
		12時間後の予想位置					
		北緯	度	分	東経	度	分
		子報	円	半径			
		24時間後の予想位置					
		北緯	度	分	東経	度	分
		子報	円	半径			